

アフターコロナ時代は、180度価値感が変わったと認識できますか？ はやぶさ2・616号 2023年9月1日（金）

もし、貴社がナンバー1になりたい企業戦略を強く念願しているなら必ず叶います

%company%

%free1%

%free2%

%name_sama%

■LittleBiz 企業を目ざすのであれば

「理念経営」を更に推し進め、

LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や

経営者やステークホルダーの方々が

「豊かになり・幸せ」になってほしいのです。

*「LittleBiz 企業」とは私の造語ですが、

小さい企業規模だが

「No.1」の商材を持ち、

地域に貢献し

人々に「勇気と希望」をもたらす

次世代に繋いでいく

「理念経営」を実践している企業です。

渋沢栄一翁が提唱する『合本主義＝義利合一』を体得して、

100年企業になる時代がきていますので、

その実現に全身全霊をかけて邁進いたします。

■理念経営を実践して「ナンバー1企業」になった事例からの学び・5回シリーズ

◆第1回 アフターコロナ時代は、180度価値感が変わったと認識できますか？

◆第2回 世代間格差（MZ世代）に適応できれば、次の時代を拓くことは出来ない。

◆第3回 LittleBiz企業から上場した企業の例

◆第4回 得意分野に特化して、業界ナンバー1でM&Aをした企業の例

◆第5回 創業時から「理念経営」をめざしてナンバー1企業になった例

~~~~~  
◆第1回 アフターコロナ時代は、180度価値感が変わったと認識できますか？

企業経営を持続させるには、

次世代の経営環境に適応できるイノベーション（変態脱皮）

できなければ市場から消えてしまうは明らかです。

創業して10年で持続できるのは10社に1社。

20年では250社に1社。30年では3400社に1社。

50年では1万社に1社。の厳しさなのが現実なのです。

・コロナ禍4年が経過し、社会情勢は大きな変化を進み、  
経営環境は激変し過去の経験知や知見にこだわってでは、  
近未来を開き持続することは絶対にできません。

★では近世・近代・現代・近未来を洞察してみましょう。

## 1. 第1次産業革命以来の推移

温故知新の故事にならひ、歴史から来る時代の流れを読みましよう。

- ◆1. 第1次産業革命 1700年後半～1800年前半  
\*綿織物 \*蒸気機関普及
- ◆2. 第2次産業革命 1800年後半  
\*電気 \*石油 \*化学技術
- ◆3. 第3次産業革命 1900年後半  
\*コンピューター \*オートメーション
- ◆4. 第4次産業革命 現在進行中  
\*インダストリー4.0 \*IoT \*AI
- ◆5. 第5次産業革命 近未来・アフターコロナ  
\*AIの更なる進化 \*地球人時代

こうして、歴史の流れを観ると

科学技術が社会制度や私たちの生活に大きな影響があることがわかります。

★そこで、アフターコロナに備えるにはどうするかを考えます。

1. 基幹産業・・・国際分業が大幅にすすみ、高度テクノロジーへのシフトが進行中
2. 景気・・・デフレが30年続いている。硬直した行政体制の効率化（GOV・cloud等）と、新しいビジネスモデルを創出しないと抜け出せないだろう。
3. 産業構造・・・中小企業は、地域個客にシフトして情報・物流等はシアリングがすすむ
4. 物流・・・更に進化していくであろう。AI・ロボット・ドローンの高度利用へ
5. 賃金・・・主流派はJOB型へ。他社にない魅力を出せるか。働き方と関連する
6. 雇用形態・・・常用の形は増加しないだろう。フリーランスを基本としてマルチタスクに
7. 人財育成・・・指示待ち族はいらない。クリエイターが適応力を生み出す。生涯学習、自己啓発となる。
8. 生産性基準・・・付加価値基準から営業利益基準となり企業活動の総合力が問われる  
\*人時生産性（1人当たり営業利益額）
9. 勤労意識・・・自分らしく生きたいと、シニアやZ世代、フリーランスは求めている  
価値がないと勤務しない。個人事業主が増加するだろう。
10. 生活実感・・・格差社会は拡大するだろう。子育てや老後の未来の不安がぬぐえない。  
消費は実需では伸びない。節約志向になる。
11. 金融政策・・・一番変わったところである。保証制度が充実した・金融機関の再編成が  
加速する。間接金融から直接金融の時代へシフトする
12. 法人形態・・・起業のハードルが低くなったが、泡沫企業になるところが多いだろう。
13. 時代精神・・・多様性を認めた社会・組織体に移っていく。適応しなければはじかれる
14. 小規模企業・中小企業数・・・26年間で何と45%減少している。更に続くであろう。  
存在価値をつくらないといけない。
15. 国際関係・・・不安定要素になっている。テロ問題。米中関係は注意深く観察が必要

16. 国際競争力・・・国家的な課題となっている。ナンバー1を創る勇気が求められている

\*経営計画を策定するには、こうした項目を読み込んで、  
経営戦略・経営課題を抽出する。

★生活者（消費者）の価値観の変化（アフターコロナ論）を観じられますか？

1. アフターコロナは、確実に時代精神が変わります。

アフターコロナの時代は、  
第1次産業革命から第4次産業革命への約200年間続いた社会慣習や文化がダイナミックに変わっていきます。

主な観点を述べますが、

- ◆1. 生活者のマインドは変わる
  - \*「できるだけお金を使わない時間の過ごし方」がトレンドになる
  - \*今までのやり方で「元の売上規模に戻ることは無い」。
  - 社会構造も大きく変わる
- ◆2. ビジネスモデルの進化（変態脱皮）に挑戦しない者は、生き残れない。  
人時生産性が地域・業界でナンバー1にはなれない

2. 価値観の変化を個別に述べますと⇒は「アフターコロナ時代」を述べています。

- ◆1. お金・物質のモノ中心から  
⇒情報資源・経験知・文化・人脈へ。

ICT系のテクノロジーの進化は加速する。  
インターネットのインフラやAIの進化による。  
各種ロボットの進化で人間は属人的作業と  
クリエイターとに分化して働き方が変わる。

- ◆2. 所有し資産化して財を持つ  
⇒必要な時にシェア（共有）生活スタイルに。

オフィス機能。車離れ。コンビニの複合機の機能アップ。  
コインランドリーの普及。空き家の増加。墓じまい等家族の破壊。

- ◆3. 土着的土地本位制・地主・継承から  
⇒土地・建物は負の資産になり易い。

移動しやすい生活基盤・地区の棲み分けによる  
人口の移動・家族構成も含めての生活スタイルに合わせる。

アーティストのように個性と価値観を大事にして生活する。

- ◆4. 伝統・踏襲・守り・安定志向でゆでガエルの  
➡世代間の価値観のギャップが加速する。

新しい環境に適応できるように、変態・進化する。  
イノベーションの勇気をもって  
挑戦する。使わないモノは捨てる勇気。

- ◆5. 財のストック・蓄積を持続の条件とした経済から  
➡循環型社会（水・食料・エネルギー資源・情報資源等）を  
強く意識してビジネスモデルへシフトされる。  
財（富）は天からの預かりモノ。

- ◆6. 性別・国籍・国境の固定観念・国家ファーストから  
➡地球ファーストへ。人類皆兄弟の理念。

他国を侵略しない。破壊しない。  
地球上の植物・動物等、生きとし生けるモノは、  
天の創造物であるとの認識もつ。

国際社会は、しばらくはパラレルワールドで推移するで  
あろう。（欧米と中国・ロシアの対立と日本の役割）

- ◆7. 法律・慣習に縛られた硬直的な組織体・企業体・社会構造  
➡フリーランス・テレワーク・協働労働等新しい仕事のやり方が主流になる。

企業内では、プロジェクト型の機能組織に進化する。  
次世代の子供達の教育が社会的な一大事業になっていく。

- ◆8. 縦社会（上司と部下・会社人間）・肩書尊重  
➡イコールパートナー・コミュニティ重視・  
仲間・友人等お金で買えないモノを大事にする。

情報の公開性が更に進み、「トカゲのシッポ切り」は社会的制裁を受ける。

- ◆9. 出世志向・名誉・社会的評価に執着  
➡あの世には持って帰れないモノは空しいと観じて  
自分らしく生きることが存在理念となる。

栄光を獲得するその過程で、人々を苦しめたり、  
害を与えては「世のため・人のため」の真逆となります。

・心魂の喜びこそが、天の蔵に富を積み、愛の循環の源泉になるのです。

■■では、こうした経営環境を自社の状況に合わせていかに読み込んだら良いのでしょうか？  
「ビジネスブック」や「HosBiz コンビニ・クリック」の  
「無料 ZOOM 経営相談」をご利用ください。

お問合せ\*<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>

■参考図書■Amazon 電子書籍

合本主義「義利合一」の時代がきている

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

\*著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

\*読者には、近々に ZOOM セミナー開催予定です。

~~~~~  
本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。

heart_gaia_gi@hosbiz.net

~~~~~  
バックナンバーは下記の URL を確認してください。

■ #615号・・・23・08・24（金）・・・**バックナンバー**・・・

[https://rinenkeieishi.net/mail\\_magazine/hayabusa.php](https://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php)

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻を

よろしくお祈いします。

◆次号 第617号 23・09・08（金）は、

◆第2回 世代間格差（MZ 世代）に適応できれば、次の時代を拓くことは出来ない。
を、お話します。 予告なく変更する時がありますので、ご承知ください。

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、
私たちは「世のため・人のため」になれない

■平本靖夫、50年の経営支援家人生の集大成 第1弾！

『合本主義「義利合一」の時代がきている』

Amazon kindle にて発売中！！

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

*読者には、近々に ZOOM セミナー開催予定です。

これを機会に是非お求めください

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。

では、また次号で元気にお会いしましょう！

◆発信日・・・・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・・・・Captain 平本靖夫

◆編集長・・・・・・岩下一智・(株) I&C・HosBiz センター 執行役員

マーケット・クリエーター(MRC)・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#inoue>

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>

<https://www.facebook.com/MRCkazu/>

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、

私たちは「世のため・人のため」になれない

■平本靖夫、50年の経営支援家人生の集大成 第1弾！

『合本主義「義利合一」の時代がきている』

Amazon kindle にて発売中！！

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

これを機会に是非お求めください

*読者には、近々に ZOOM セミナー開催予定です。

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本靖夫、

編集長：岩下一智 MRC

*配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

%cancelurl%